

激動する日本農業・農村構造
—2020 年農業センサスの総合分析—

目 次

	ページ
序 章 2020 年農業センサスの分析視角 ----- 橋詰 登 -----	1
1. 「新基本法」制定後のセンサス分析における論点-----	1
2. 調査の変遷 -----	2
(1) 2005 年センサスでの調査体系等の抜本的な見直し -----	3
(2) 2010 年及び 2015 年センサスでの見直し -----	4
(3) 2020 年センサスでの見直し -----	4
3. 2020 年センサスの分析視角 -----	7
4. 本資料の章別構成 -----	8
 第 1 章 都府県における水田作経営体の現状と課題 ----- 平林 光幸 -----	 11
1. はじめに -----	11
2. 田のある家族経営体及び組織経営体の動向 -----	12
(1) 田のある家族経営体の動向 -----	12
(2) 田のある組織経営体の動向 -----	13
(3) 田のある経営体における露地野菜、施設野菜への取組 -----	15
(4) 田のある経営体における農産物の出荷・販売先 -----	19
(5) 小括 -----	21
3. 田のある経営体の経営面積拡大状況 -----	22
4. 集落営農型経営体の動態分析：2015～20 年の変化 -----	24
(1) 2015 年と 2020 年センサスのパネルデータ作成 -----	24
(2) 継続経営体の動向 -----	26
5. おわりに -----	32
 第 2 章 団体経営体の動向とその特徴 ----- 飯田 拓詩 -----	 35
1. はじめに -----	35
(1) 本章の目的 -----	35
(2) 組織経営体と一戸一法人に関する既存研究の整理 -----	36
(3) 本章の構成 -----	37
2. 組織形態別の動向 -----	37
(1) 組織形態別の団体経営体及び組織経営体、一戸一法人の推移 -----	37
(2) 一戸一法人の増加要因に関する個票接続による分析 -----	39
3. 地域ブロック別及び販売額 1 位部門別の動向 -----	40
(1) 地域ブロック別の経営体数の動向 -----	40

(2) 農産物販売金額1位部門別の動き	42
4. 団体経営体の経営規模別の動向とその特徴	44
(1) 経営耕地面積規模別の動向とその特徴	44
(2) 農産物販売金額規模別の動向とその特徴	46
5. 団体経営体の経営資源シェアの動向	47
(1) 面積及び資源シェア	47
(2) 経営耕地面積シェア及び借地面積シェアの地域ブロック別の動向	50
(3) 雇用労働力の導入状況	52
6. おわりに	52
 第3章 減少が続く中での農業労働力の変容と経営作目別の特徴	54
1. はじめに	54
2. 農業投下労働日数の動向	55
(1) 総農業投下労働日数の動向	55
(2) 雇用における個人経営体と団体経営体の差	61
3. 団体経営体の農業労働力の特徴	63
4. 個人経営体の農業労働力の特徴	67
(1) 世帯員数の動向	67
(2) 家族農業労働力の動向	70
(3) 個人経営体における各農業労働力の作目別の特徴	75
5. おわりに	78
 第4章 家族経営における女性の農業参加	80
1. はじめに	80
2. 個人経営体における女性農業労働力の現状及び動向	81
3. 女性農業者の経営参画の現状及び動向	83
(1) 個人レベルでの分析(女性の経営主, 方針決定参画者)	83
(2) 経営体レベルでの分析(女性が経営に参画している経営体)	86
4. 女性の経営参画動向別経営体の特徴	90
(1) 分析方法	90
(2) 経営参画類型別の経営体の特徴	90
(3) 「継続」と「非参画」経営体の年次変化	95
5. おわりに	96
 第5章 土地利用からみた農業構造変動とその地域性	99
—組織経営体での常雇いの導入状況に着目して—	
1. 課題と方法	99
2. 2020年センサスの概要と特徴	100
(1) 経営耕地の推移	100

(2) 農地貸借の動向	102
(3) 経営田面積規模別の田集積状況	104
(4) 販売目的の作物別作付面積の推移	105
(5) 小括	107
3. 組織経営体による農地集積とその地域性	108
(1) 経営田のある組織経営体の動向	108
(2) 都府県における組織経営体の田集積状況	109
(3) 地域別の動向	110
(4) 小括	113
4. おわりに	114
 第6章 農業生産関連事業の展開に関する分析	大橋 めぐみ 117
1. はじめに	117
(1) 分析課題	117
(2) 分析方法	118
2. 取組経営体数と売上額の変化	119
(1) 取組経営体数の変化	119
(2) 事業売上額の変化	120
3. 生産関連事業を継続、中止、開始した経営体の特徴	122
(1) 継続、中止、開始の経営体数割合	122
(2) 継続、中止、開始した経営体の特徴	123
4. 生産関連事業の継続要因	130
5. おわりに	134
 第7章 有機農業の実施状況に関する分析	楠戸 建 137
— 農業経営体の規模との関連性に焦点を当てて —	
1. はじめに	137
(1) 有機農業とは	137
(2) 国内の有機 JAS 認証の推移	138
2. 農林業センサスで把握された有機農業の実施状況	138
(1) 把握方法	138
(2) 概要	139
3. 有機農業の実施状況	140
(1) 都道府県別の有機農業実施状況	140
(2) 有機農業実施状況トップ10の市区町村	143
4. 有機農業を実施する農業経営体と経営規模との関連	145
(1) 経営耕地面積との関連	145

(2) 作物別の作付（栽培）面積との関連	146
(3) 農産物販売金額規模別の有機農業の実施状況	150
5. おわりに	151
(1) まとめ	151
(2) 今後の展望	151
 第8章 野菜作における農業経営体の変化と経営展開	小柴 有理江 153
1. はじめに	153
2. 野菜の作付経営体の概況	154
3. 露地野菜販売1位の経営	155
(1) 担い手の状況	155
(2) 生産分野と品目	158
(3) 付加価値形成の取組	159
(4) 出荷先の特徴	160
(5) 農業後継者の確保状況	162
4. 施設野菜販売1位の経営	163
(1) 担い手の状況	163
(2) 生産分野と品目	166
(3) 付加価値形成の取組	167
(4) 出荷先の特徴	168
(5) 農業後継者の確保状況	170
5. おわりに	170
 第9章 肉用牛経営に関する分析	大橋 めぐみ 172
—和牛飼養経営体を中心に—	
1. 分析の課題及び方法	172
2. 肉用牛を飼養する経営体の動向	174
(1) 分析方法	174
(2) 牛飼養頭数の推移	175
(3) 牧草地面積	178
(4) 農産物販売額と農業従事者	180
3. 和牛のみを飼養する3類型への経営変化（2015年→2020年）	184
4. 繁殖牛を飼養する経営体の動向	186
5. おわりに	189
 第10章 都市・都市近郊農業における構造変化と立地別の特徴	吉田 真悟 192
1. 背景と課題	192

2. 分析方法	194
3. 分析結果	194
(1) 都市的地域での農業構造の変化	194
(2) 都市的地域における立地の影響	206
4. 考察	213
(1) 都市及び都市近郊農業の範囲	213
(2) 都市農業の持続可能性	214
5. 結論	215
 第 11 章 農業集落の機能及び諸活動の動向に関する分析	平形 和世 219
1. はじめに	219
2. 農業集落の動向	220
(1) 農業集落数	220
(2) 農業集落の平均規模	221
(3) 農業集落の接続関係と分析対象集落	222
3. 農業集落の機能・活動	223
(1) 寄り合いの開催	223
(2) 諸活動の実施状況	226
4. 農業集落による地域資源の保全活動	227
(1) 地域資源保全の管理	228
(2) 農業用排水路の保全状況	228
5. おわりに	231
 終 章 2020 年センサスにみる構造変動の特徴と展開方向	橋詰 登 233
1. 各章の論点整理	233
(1) 農業の担い手に関する分析から	233
(2) 農業労働力及び女性の農業参加に関する分析から	234
(3) 農地利用に関する分析から	235
(4) 農業生産関連事業及び有機農業に関する分析から	235
(5) 集約型農業部門の経営展開に関する分析から	236
(6) 都市農業及び農業集落に関する分析から	237
2. 今回センサスにみる農業・農村構造変動の特徴と今後の行方	238
3. 残された課題	240